

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2516 号

Soluble CD30 Level in the Sera of Patients With Psoriasis in Myanmar

ミャンマーにおける乾癬患者の血清中可溶性 CD30 値の評価

Myat Sanda Kyaw (みあつと さんだ きおー)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文では、ミャンマーにおいて乾癬患者 79 名と健常人 34 名の血清を採取し可溶性 CD30 の測定、結果を統計解析し臨床症状と関連性があるか項目ごとに統計学的検定を行った。

解析の結果、尋常性乾癬患者において健常人より血清中可溶性 CD30 値が高い傾向がみられ、長期罹病患者群と、家族歴を有する患者群において、罹病期間に比例して血清中可溶性 CD30 値の上昇がみられることを初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。有意差はみられなかったものの、関節症状、爪病変を有する患者群では低値である傾向がみられた。

アトピー性皮膚炎では血清可溶性 CD30 値と臨床症状の研究報告は数件散見される。乾癬においては治療により血清可溶性 CD30 値が低下したとの報告はあるが、可溶性 CD30 血清値と臨床症状の相関についての比較検討の研究報告は少なく、同様の論文報告は見当たらない。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。